



4月、新体制 感謝と共に、心新たに。

■市役所新体制

新年度が始まりました。

職場、学校はじめ多くの皆さんの生活環境に変化が生まれていると思います。私の妻も今春から仕事復帰するため、長男、次男が揃ってこども園に通います。桜満開の季節。希望や期待と同時に不安や心配も当然あるでしょう。疲れやストレスを溜めすぎないように、心身ともに体調管理にご留意いただきたいと思います。

市役所においても、新年度に合わせ大きな人事異動が行われました。3月をもって退職される方々には、感謝と精一杯の激励をさせていただきながら、新年度に向けての新組織を構築し

ました。



大きな動きの一つとして、“小川美鈴前副市長”が県庁へ戻り、新たに前総務部長の佐藤文彦副市長が就任しました。また、11年間教育長を務められた日比野安平前教育長が退任されたため、太田小学校の校長を務められた古川一男教育長が就任されました。副市長、教育長は市長と同じく、法律上の一般公務員とは異なる取り扱いを受

ける特別職公務員です。市政発展のために、力を合わせて努めていきます。



その他、市役所組織も新たな課題への対応や効率的かつ効果的な行政運営のための変革に取り組みます。組織変更による対応窓口の変更等でご迷惑をおかけすることもあります。ご理解のほどよろしくお願いいたします。広報4月号にも掲載しておりますので、ご確認ください。特に大きな変化は、「子育て、子ども、健康」に関する取り組みを強化するための“健康こども部”の設置や市役所や地域のデジタル化を推進するために“自治体DX推進室”の設置です。新たな組織のもとで、「未来への五か条」を実現していきます。

■市議会閉会

2月24日に開会した令和4年美濃加茂市議会第1回定例会が3月23日に閉会しました。

218億円の一般会計予算をはじめ、提

出した36議案を全て可決いただきました。今回の議会では16名中14名の議員の方々から今後の市政運営や新庁舎計画について一般質問がありました。私なりに現段階で答えられる内容を回答し、いくつもの視点からご提案等をいただきました。



今後も市民の代表である市議会議員との議論をはじめ、透明性を持った市政運営を進めていきたいと思えます。

■市内の保育園、幼稚園 一斉にリニューアル

古井第一保育園、古井第二保育園、蜂屋保育園が3月末で閉園となり、新たに“あじさい保育園”が田島町に完成しました。その他、50年の歴史を持つ“たから幼稚園”が新たな園舎で4月からこども園をスタートされます。また、蜂屋保育園があった場所には、保育所民営化事業として“蜂友（ほうゆう）学舎”が間もなく完成し、スタートされます。どの園も特色を持った大変素晴らしい園舎となっています。子

どもたちやご家族、地域の人たちにとって素晴らしい子育て施設となるよう市としてもサポートしていきたいと思っています。



ハード(施設)のリニューアルと併せてソフトとなる子育てサポートについても、早い段階で具体的な事業や制度を打ち出していきたいと考えています。



■市役所のデジタル化推進

新型コロナウイルス感染症対策により、民間サービスをはじめ多くの場所でデジタル化が推進されています。インターネットで食事を注文したり、お店の予約、病院の受付、銀行振り込み、保険の手続きなど、多くのことが可能となっています。そのような中で市役所関係の手続きは、まだまだ進んでいません。この1年で、市役所への

提出書類の中から押印の廃止や、施設予約、サービス使用料の支払いなど、デジタル化出来ることをどんどん進めていきます。

また、同時にスマホやインターネットが苦手な人たちに対して、使い方を丁寧に伝えられる機会や、対面での対応が十分できるような取り組みにも力を入れていきます。新たなことに挑戦する時には失敗が伴うことも当然です。ぜひ、皆さんには温かい目で見守っていただきながら、お気づきの点についてはお気軽にご指摘やご意見をいただけたらと思います。

■最後に

コロナ対策が始まり3年目になります。美濃加茂市内の桜は各所で満開を迎え春の訪れを祝っています。まだまだ美濃加茂市では、コロナ対策が必要な状況に変わりはありませんが、一歩外に足を運んでいただき、春爛漫を感じていただけたらと思います。

新年度も宜しくお願い致します。

藤井浩人

